

令和2年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	01	03	104110	家庭教育力向上事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	01 子育て環境の充実	
	施策	02	家庭の教育力向上			
目的	就学前教育の充実					
対象	就学前幼児の保護者 保育園・幼稚園・小学校職員、地域住民					
意図	対象) 健全な子どもの育成のためには、家庭の努力も必要であるという意識が高まる。 対象、) 家庭、保育園・幼稚園・小学校、地域が連携し、子どもの健全育成に努めようという意識が高まる。					
事業概要	家庭教育力向上事業費 消耗品費 65千円、役務費 30千円 就学前教育振興会議の開催 1千円 ...市教委、関係課、校長会、幼稚園・保育園・認定こども園長及び保護者代表による懇談 保護者代表者交流会 2千円 ...市教委、各園保護者代表者による懇談会 保護者、家庭の教育力を高めるための情報提供 135千円 ...ニコニコガイドの発行による情報提供、保護者対象講演会等の実施 家族でニコニコチャレンジの実施...年長児の各家庭で基本的生活習慣の定着に向けた親子での取組 保育園・幼稚園・認定こども園・小学校の連携に基づく施設の教育力の向上 ...相談対応の充実、保育・教育内容の充実					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	家族でニコニコチャレンジに取り組んだ家庭の割合	%	計画	95.00	95.00	
			実績	93.90	93.60	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	基本的生活習慣が身につけている子どもの割合	%	目標	80.00	80.00	
			実績	78.25	79.45	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
平成21年度策定、平成28年度に改訂した花巻市就学前教育プログラムにおいて、家庭、保育所・幼稚園・こども園、小学校、地域が連携し取り組むことの必要性和具体的取り組みを示した。家庭における教育力向上のための「家族でニコニコチャレンジ」等の実施により成果が着実に実績に出てきている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	就学前教育の充実は、その後の義務教育等へのスムーズな移行を実現する上で非常に重要であり、公的機関（教育委員会）が、公立、法人を問わず、より良い方向性を示し、誘導することが重要であることから、公共的関与は必然である。
	妥当である	
見直し余地がある		
妥当でない		
有効性	成果の向上余地	毎年度、当該事業の成果向上のための事業を継続的に実施しており、着実に成果が上がっているが、今後も継続的な事業実施により、更に成果が期待出来る。
	向上余地がある	
向上余地がない		
効率性	事業費・人件費の削減余地	未就学児童のいる家庭や保育・教育施設に向けたソフト事業であり、削減の余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	認可外の乳幼児、在宅の乳幼児も含めた市内全未就学児を対象とした事業であり、受益機会は平等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	就学前教育振興会議を開催し、就学前の子どもの様子としが目指す子どもの育成像を共有するとともに、園、小学校、家庭、地域等の立場から意見をいただき効果的に事業を進めることができた。また、親子で目標を決めて取り組む「家族でニコニコチャレンジ」は、就学前の子どもの基本的生活習慣を身に付けるための家庭での意識付けにつながった。
	次年度に向けて	令和3年度改訂の花巻市就学前教育プログラムに基づき、就学前教育の振興は教育委員会や園だけではなく家庭の理解や小学校の協力、地域との連携が重要であることから、今後も就学前教育振興会議等で関係者からの意見・提言をいただきながら家庭教育力の向上を目指して情報発信等の働きかけを継続していく。